

発行日：2019年12月4日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

(一般財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



ジャパンフラワーセレクション2019-2020 切花/鉢物部門 秋審査会 審査結果の発表



全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の切花・鉢物部門は、このたび、春審査会を大田市場花き部（東京都大田区）にて実施し、切花部門9品種、鉢物部門12品種を業界の推奨品種として選定しました。

これらの中から、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定しました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

【実施概要】

■ 審査会日時および開催場所：

切花部門 2019年11月4日（月/祝）14:00～

（株式会社大田花き）

鉢物部門 2019年11月18日（月）15:30～

（株式会社フラワーオークションジャパン）

■ 審査後の展示期間：

切花部門 2019年11月5日（火）～11月8日（金）

鉢物部門 2019年11月19日（火）～11月22日（金）

■ 出品品種：切花部門9品種 鉢物部門12品種

■ 入賞品種：切花部門9品種 鉢物部門12品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識経験者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

■ 切花部門 *部門長

穴戸 純 (株)大田花き営業本部第一グループリーダー*

石黒 康二 (株)フラワーオークションジャパン 切花部営業9課 課長代理

大根 秀夫 (株)千政 代表取締役

小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー

細谷 宗令 元千葉県農林総合技術センター

■ 鉢物部門 *部門長

長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役花の広報室長*

岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部第二グループグループリーダー

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役

小池安比古 東京農業大学 花き学研究室 教授

向原 潤 (株)ディノス・セシール フLOWERネット本部

フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニットチーフ



＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

＜JFS2020 冬春審査会・春審査会・夏秋審査会 出品募集中！＞

審査会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

ポット苗の
ご出品はこちらへ！

■出品料についてのお知らせ（切花・鉢物・ガーデニングの全部門で出品料等の変更があります）

JFS2020 から出品料と減免対象者の変更を予定しています。決定となるのは2019年末頃となります。決定し次第、HPなどで速やかに公開いたします。ご迷惑おかけしますがよろしくお願い申し上げます。

■JFS出品対象品種

- ① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）
- ③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
- ② 契約により日本における販売代理権を持つ者（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査会場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデンニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式 (東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行いました。



切花部門 秋 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト/ニュースタイル/モニター特別賞同時受賞]

ダリア「NAMAHAJE MASARU」秋田県



出品者：秋田県
育成者：鷲澤 幸治
育成者権者：秋田県
審査講評：

オレンジと白のユニークな複色のダリア。ウェーブがかった花弁の動きも面白く、非常に表情豊か。存在感たっぷり、華やかな大型の装飾などに向く。花首が上向きでキープできれば、さらに良いという意見があった。ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞、ニュースタイル特別賞の3賞を同時受賞。人気投票1位で、モニター特別賞も受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ/グッドパフォーマンス特別賞同時受賞]

ダリア「大曲の花火ダリア 橙炎」大仙市



出品者：大仙市(秋田県)
育成者：鷲澤 幸治
育成者権者：大仙市

審査講評：濁りのない濃いオレンジ色が非常に印象的なセミカクタス咲き。「橙炎」というネーミングにもあっている。ダリア特有のデリケートな扱いを忘れるほどしっかりとした花弁と花茎。上向きでジャストサイズの中輪もよい。ベスト・フラワー(優秀賞)とモーストジョイ特別賞、グッドパフォーマンス特別賞のトリプル受賞。人気投票第3位。

モーストジョイ特別賞

ダリア「NAMAHAJE エポック」秋田県



出品者：秋田県
育成者：鷲澤 幸治
育成者権者：秋田県
審査講評：

暖かみのあるピンク色、花弁数が多く端正な花型。キュートな色味に華やかな雰囲気があり、ブライダルはもちろんギフトや大型の装飾にもオールマイティな利用が期待できる。

上向きの花、硬くしっかりとしたステムで扱いのしやすさも高評価。モーストジョイ特別賞を受賞。人気投票第2位。

切花部門 秋 審査会

ジャパndeザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 花紫音」大仙市



出品者：大仙市（秋田県）

育成者：鷺澤 幸治

育成者権者：大仙市

審査講評：

深い紫色の花弁には光沢があり、シックな高級感を湛えたフォーマルデコラ咲き品種。花径のサイズ感、茎の細さ、硬さも申し分ない。

日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種としてジャパndeザイン特別賞を受賞。

ジャパndeザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 紫ながれ」大仙市



出品者：大仙市（秋田県）

育成者：鷺澤 幸治

育成者権者：大仙市

審査講評：

淡い紫色に絞り模様の和の雰囲気の特徴。蓮の花にも見えるような、高貴な印象をもつ。

ステムの太さが改善されればさらに使い易くなるだろう。

ジャパndeザイン特別賞を受賞。人気投票第5位。

ライフデザイン特別賞

ダリア「大曲の花火ダリア 和火」大仙市



出品者：大仙市（秋田県）

育成者：鷺澤 幸治

育成者権者：大仙市

審査講評：

花火の炎が枝垂れていくようなフォーマルデコラのスタイル。やや小ぶりでもコロンとしたキュートな形は、気軽にホームユースしてほしい品種。花首が上向きにしっかりとすればさらに良い。

生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフで事案特別賞を受賞。

ブリーディング特別賞

デルフィニウム「ラブホワイトグリーン」フラワーロード企画



出品者：フラワーロード企画
(長野県)

育成者：横山 優

審査講評：

ジャイアント系デルフィニウムの「ラブシリーズ」の白色品種。インパクトある花の大きさは、大型の装飾を豪華に演出できる。

見ごたえのある花の美しさとともに、デルフィニウムに求められる花卉の散りにくさ、安定的に先端まで咲ききる力を育種の技術によって今後も追及して欲しい。

ブリーディング特別賞を受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「ボヤージュ® (1型) ラベンダーSM6-846」株式会社サカタのタネ



出品者：株式会社サカタのタネ
(神奈川県)

育成者：森 一俊

育成者権者：株式会社サカタのタネ

審査講評：人気のボヤージュ®シリーズのラベンダー色。青みのラベンダーは上品で高級感があり、市場性が高い。花径、フリルのバランスが抜群に良く、花卉の厚みも心強い。

生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。人気投票第4位。

入賞

デルフィニウム「ラブラベンダー」フラワーロード企画



出品者：フラワーロード企画
(長野県)

育成者：横山 優

審査講評：

ジャイアント系デルフィニウムの「ラブシリーズ」のラベンダー色品種。インパクトある花の大きさは、大型の装飾を豪華に演出できる。

「ラブホワイトグリーン」同様、見ごたえのある花の美しさとともに、散りにくさ、先端まで安定的に咲ききる品種を今後も追及して欲しい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ/モニター特別賞 同時受賞]
ファレノプシス「天使の羽衣」 有限会社椎名洋ラン園


出品者：有限会社椎名洋ラン園(千葉県)

ホームページ：<http://www.ranran.co.jp>

育成者：有限会社椎名洋ラン園

審査講評：

リップの部分が大きく広がって、花卉の一つのように見える。オリジナリティにあふれる「ビッグリップシリーズ」の新品種で、印象的な花形。花卉にうっすらと入るピンクの筋模様が、繊細かつ上品。まとまった花姿で、中輪サイズも万人に好まれるだろう。花もちがよく、3か月以上の開花実績があるとのことなので、パーソナルギフトにも喜ばれそう。ベスト・フラワー（優秀賞）と、楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を同時に受賞した。人気投票第1位でモニター特別賞も同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]
シクラメン「胡蝶」 サントリーフラワーズ株式会社 / 有限会社大栄花園


出品者：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
有限会社大栄花園(千葉県)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：高橋 康弘

審査講評：

かわいらしい青色の丸弁に白い刷毛目模様が入る、従来にはない美しさがある複色品種で、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞したシクラメンの期待の一品。刷毛目模様の効果が軽やかさと立体感が際立ち、まるでたくさんの蝶が舞っているかのように、寒色系の花色ながらリッチでにぎやか。花姿と株とのバランスもよい。耐暑性もあり、組織培養で殖やされるため、均一性と生産効率のよさも魅力的。人気投票第4位。

ニュースタイル特別賞
キク「かがり弁白」 愛知県農業総合試験場 東三河農業研究所


出品者：愛知県農業総合試験場東三河農業研究所

育成者：長谷川徹始め22名

審査講評：

従来のかがり弁品種より花卉先端の突起が大きく際立ち、オリジナリティにあふれるため、ニュースタイル特別賞受賞。細く繊細で、清楚な美しさがある。濃緑色の葉と白花のコントラストもよく、白花でも十分な存在感がある。生育が良く、開花の揃いもよい。今後、花卉に反り返りを入れるなど、育種素材としても期待したい。

人気投票第5位。

ライフデザイン特別賞

シクラメン「ジックス レッド」株式会社ハクサン



出品者：株式会社ハクサン(愛知県)

ホームページ：www.hakusan1.co.jp

育成者：Schoneveld Breeding

審査講評：

萼が発達した個性的な花容が特徴のワーリーギグタイプ。澄んだ赤い花弁と白く整った萼とのコントラストが印象的で、ライフデザイン特別賞 同時受賞。同タイプとしては小葉で葉数が多く、株姿のバランスもよい。連続開花性に優れ、次々と花が咲くうえに花もちがよく、商品性が高い。クリスマスのギフト需要にも応えられそう。人気投票第3位。

フレグランス特別賞

バラ「におい桜」パティオローズ



出品者：パティオローズ(千葉県)

育成者：小川 宏

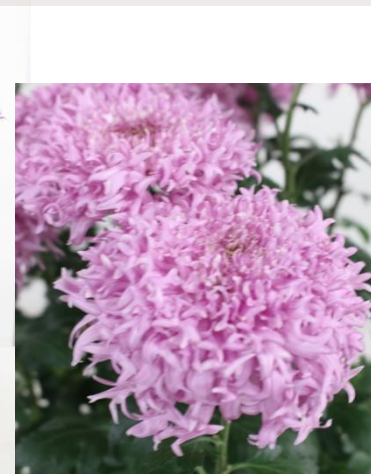
審査講評：

「におい桜」の名前の通り香りがよく、フレグランス特別賞 同時受賞。極小輪にも関わらずしっかりとバラの香りが広がる魅力的な品種。接ぎ木を生かした仕立ては小品盆栽の趣きがあり、和風な美しさを気軽に楽しめるだろう。剪定によって開花時期をコントロールできる。和風の仕立て以外での可能性の広がりにも期待したい。

人気投票第2位。

入賞

キク「かがり弁紫」愛知県農業総合試験場 東三河農業研究所



出品者：愛知県農業総合試験場東三河農業研究所

育成者：長谷川徹始め22名

審査講評：

従来のかがり弁品種より花弁先端の突起が大きく際立ち、数も多いのが特徴。生育がよく、開花の揃いもよい。独創的な花形は、存在感がある。「かがり弁白」に比べると特徴の出方がやや控えめだが、ピンク系パープルには温もりを感じさせる美しさがある。今後、シリーズとして色幅がふえれば、ギフト性が高まるのでは。

入賞

ペチュニア「あふれ咲きペチュニア ラズベリージャム」株式会社カインズ



出品者:株式会社 カインズ
ホームページ:<https://www.cainz.co.jp>

育成者:坂寄 潮

審査講評:

ピンクと白のバイカラーの花色が、かわいらしい。色と模様の出方は気温や肥料などの影響を受けにくく、安定している。

鉢上げ後の枯死が少なく生育旺盛で、こんもりと形よくまとまる。耐暑性、耐雨性に優れるため、置き場所を選ばずに長期間楽しめる。葉の薄さが気になるので、春からのパフォーマンスを見てみたい。

ペチュニア「あふれ咲きペチュニア ブルーベリージャム」株式会社カインズ



出品者:株式会社 カインズ

ホームページ:<https://www.cainz.co.jp>

育成者:坂寄 潮

審査講評:

ブルーと白のバイカラーの花色がシャープな印象。色と模様の出方は気温や肥料などの影響を受けにくく安定しており、花つきもよい。

鉢上げ後も枯死が少なく生育旺盛な一方で、コンパクトにまとまって育つ。また、耐暑性、耐雨性に優れるため、置き場所を選ばずに長期間楽しめる。春からのパフォーマンスにも期待したい。

ファレノプシス「アイ・シャインビクトリー」アイファーマーグループ蘭工房



出品者:アイファーマーグループ蘭工房

育成者:服部 健治

審査講評:

鮮やかなピンクの花弁と、白いリップのコントラストが優しげで、気品に満ちあふれる。万人に好まれるタイプだろう。

一輪が大きく華やかで、人目もよくひく。また、花の首が詰まって、強い並びのためボリューム感があるうえに、花の重なり具合の造形も美しい。根や葉が強健であることから、花もちのよさにも期待できるだろう。

入賞

ファレノプシス「アイ・しらゆき」アイファーマーグループ蘭工房



出品者：アイファーマーグループ蘭工房

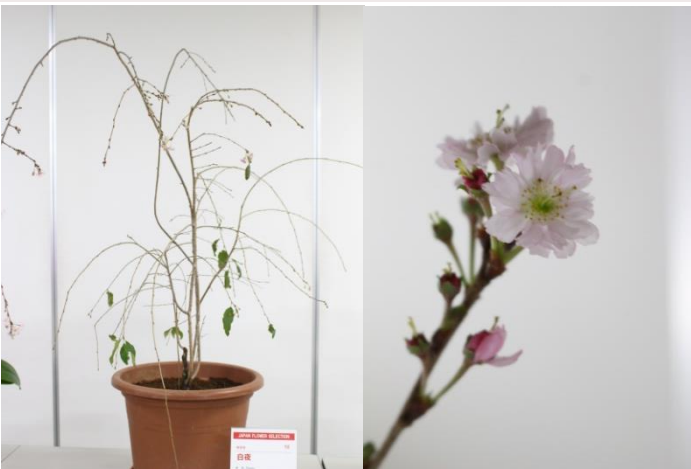
育成者：服部 健治

審査講評：

純白の花弁は、神秘的で透明感がある美しさ。薄いピンク色がほんのりと乗ったリップも、上品な印象。花の並びも端正で、エレガントな佇まいで広く好まれそう。

株がごちんまりと小さい割に、花数も多く見栄えがする。耐寒性の強さは、交配親にアマビリスが入っているのだろうか。扱いやすさの点で、勧めやすいといえる。

サクラ「白夜」澤田 孝文



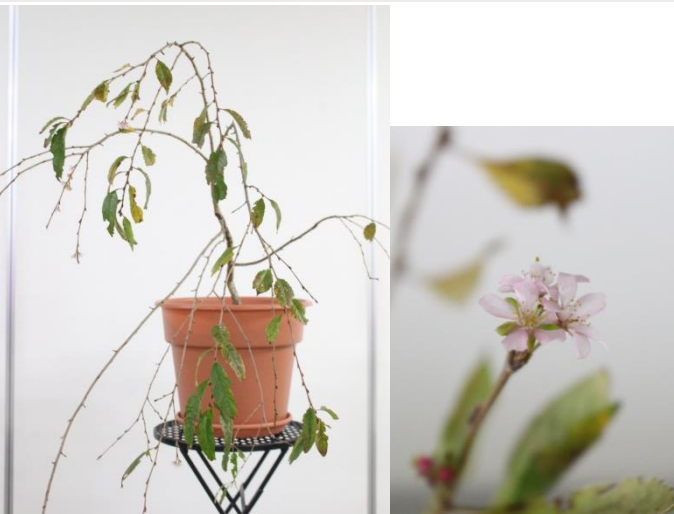
出品者：澤田 孝文(長野県)

育成者：澤田 孝文

審査講評：

新規性がある、秋咲き枝垂れ性。花弁数40枚前後の小輪八重咲きで、花は気温が高いと白色に、低温になると紅色が強まる。鉢植えでも花が咲くので、ベランダなどにも最適。開花は秋がピークで、霜が降りると成長が止まるものの、秋から春にかけて断続的に咲くとのことで、春のパフォーマンスにも期待したい。

サクラ「極夜」澤田 孝文



出品者：澤田 孝文(長野県)

育成者：澤田 孝文

審査講評：

鉢植えで咲かせることででき、観賞時期に新規性がある秋咲き枝垂れ性の極小輪一重咲き。上伸性が弱くコンパクトに仕立てられる点は、都会の小庭や玄関先に季節感を添えてくれるだろう。小さな花に風情があるが、遠目に觀賞しづらいかもしれない。花つきに期待したいので、秋から春を通してパフォーマンスを見てみたい。



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。